

第38回宮城県産業振興審議会 議事録概要

- 1 日 時 平成29年6月5日（月） 午後3時から午後5時10分まで
- 2 場 所 宮城県行政庁舎4階 特別会議室
- 3 出席者 全20人中17人
- 4 委員からの主な発言内容

【企業参入】

- 今、農業は「企業の参入」により産業化を図っていく方向で、国も規制を緩和している。今後、林業も同じように高齢化して担い手不足になっていく中で、大規模化に向けた企業参入の視点が欲しい。（白幡副会長）

【人材育成】

- 農林水産業は太陽の恵みにより成り立つ生命産業である。そういった中で、子供たちに関心を持たせることが必要。
文部科学省は産業教育は行わないため、是非我々産業側と教育委員会が連携して小中学生や高校生に対する動機付けが必要。子供たちが社会的使命を感じて一次産業に就業できるような施策を具体的に書いてほしい。（須能委員：水産林業部会）
- 宮城県の教育庁には産業教育審議会というのがある。その中では産業高校として農林水産業だけではなく、福祉など様々な教育の問題を議論している。この中で農業や水産業の議論もしていた。産業教育審議会を出している報告書などを読み、関連部分は盛り込んでもらいたい。（伊藤（房）農業部会長）

【林地開発】

- 森林内にソーラーパネルが多く設置されてきている。自然環境にも影響すると思う。（白鳥委員：農業部会）
- ソーラーパネルについては、設置した時点で森林ではなくなると思われるので、明確に制限をしていくべきだと思う。（佐々木（好）委員：水産林業部会）

【温室効果ガス削減目標】

- 先日、アメリカのトランプ大統領がパリ協定からの脱退を表明した。世界的に大問題になっているが、当県としても、環境を重視する県として、知事のコメントなどを出したりしないのか。出さなければ、当委員会から環境に対して宮城県はこういう思いがあるということを表示していきたいと思うがどうか。（佐々木（好）委員：水産林業部会）